

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	社会的養護内容				
担当者氏名	阪本 博寿				
授業方法	講義	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・秋期

《授業の概要》

社会的養護内容は、主として入所型の児童福祉施設で生活している子どもの日常生活を知り、また、そこにおける施設職員の関わり方を知り、児童福祉実践力の習得をねらいとする科目である。児童福祉施設における日常生活支援、治療的支援、自立支援等について事例を通して学びとり、また関係機関との連携のあり方についても同時に学び、家族再統合のための技術・方法の習得を目指す。

《授業の到達目標》

生活型施設で生活する子どもの実態把握と家族の再統合への道筋を習得する。

テーマ 『社会的養護における自立支援』

《成績評価の方法》

平常点（受講態度）40%、提出物（レポート）30%、定期試験30%で総合的に評価

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	今日の児童養護の問題	社会的養護の基本的枠組みと仕組み
2	これからの社会的養護のあり方	社会的養護のあり方の方向性、児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）・児童福祉法の一部改正
3	児童養護の理念と施設養護の原則	基本的人権の擁護と援助の原則（最善の利益の保障）
4	児童養護の理念と施設養護の原則	家族支援の原則
5	児童福祉施設・関係機関の現状と課題	養護系施設及び障害系施設の現状と課題
6	児童福祉施設・関係機関の現状と課題	児童養護にかかわる行政機関の現状と課題
7	児童福祉施設職員の専門性と課題	職員に求められる援助技術、児童福祉施設の運営管理
8	施設養護・家庭支援の理解	アドミッションケア・インケア・リーピングケア・アフターケアの4過程の理解 家庭・家族への支援の理解
9	施設養護・家庭支援の理解	アドミッションケア・インケア・リーピングケア・アフターケアの4過程の理解 家庭・家族への支援の理解
10	施設養護・家庭支援の支援方法	アドミッションケア・インケア・リーピングケア・アフターケアの4過程の援助 家庭・家族への支援方法
11	児童養護施設・乳児院の事例研究	『援助計画』と『自立支援計画』の策定 児童相談所による『援助計画』の策定
12	児童養護施設・乳児院の事例研究	『援助計画』と『自立支援計画』の策定 児童相談所による『援助計画』の策定
13	各関係機関における事例	児童相談所・福祉事務所（家庭児童相談室）等による家庭支援
14	対応困難事例の研究	対応困難事例の検討と解決方法
15	まとめ	社会的養護における子どもの権利擁護と保育士等の倫理および責務

《テキスト》

児童の社会的養護内容

神戸賢二 喜多一憲 編
(株)みらい

《参考図書》

山縣文治 柏女霊峰 編集委員代表「社会福祉用語辞典」ミネルヴァ書房
資料を適宜配布する

《授業時間外学習》

新聞等で子どもに関する記事を切り抜き保存しておく。
配布するプリントの整理をして授業に持参する。

《備考》

講義中に指示する提出物は、提出期限を厳守すること